

令和6年度 事業計画

1 第19回大分県障がい者スポーツ大会開催事業(県委託事業)[別冊 P1]

(1) 県障がい者スポーツ協会主管競技(4競技)

競 技	期 日	場 所
卓球、STT(身・知・精)	5/11(土)	県身体障害者福祉センター 体育室
ボッチャ(身)	5/12(日)	県身体障害者福祉センター 体育室
総合開会式 陸上(身・知・精)	5/18(土)	レゾナックドーム大分
フライングディスク(身・知・精)	5/18(土)	レゾナックグラウンド

(2) 各障がい者スポーツ団体主催・主管競技

- ・アーチェリー :4/7(日) 別府市営実相寺アーチェリー場
- ・水泳 :5/19(日) 大分市営温水プール
- ・ボウリング :5/25(土) タワーボウル植田店
- ・その他の競技:4月～県内各地で開催(サッカー、車いすバスケットボール等)

2 第23回全国障害者スポーツ大会派遣事業(県委託事業)[別冊 P2]

- ・第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024 全障スポ」(10月26日(土)～28日(月))に、個人競技選手36人(身体18人・知的16人・精神2人)、役員24人、計60人の選手団を派遣予定
- ・団体競技については、九州ブロック予選で優勝したチームを派遣予定

3 第43回大分国際車いすマラソン開催事業(県委託事業及び自主事業)[別冊 P3]

11月中旬開催で大会関係者と調整中

《主要スケジュール》

日(曜日)	時 刻	日 程	会 場
1日目(土) (レース前日)	9:30～14:00	選手受付・クラス分け	ジェイリーススタジアム
	9:00～12:00	選手受付<クラス分け不要>	大分県庁
	15:15～15:45	有力選手記者会見	大分市内
	16:00～16:30	開会式	大分市内
2日目(日) (レース当日)	8:00～ 9:25	ウォームアップ	大分市役所周辺
	10:00	マラソンスタート	大分県庁前
	10:03	ハーフマラソンスタート	大分県庁前
	13:20～14:20	閉会式(表彰式)	ジェイリーススタジアム
	18:00～20:00	交歓の夕べ	大分市内

4 東パラレガシー障がい者スポーツ推進事業(県委託事業)[別冊 P5]

東京2020パラリンピック競技大会等で盛り上がった障がい者スポーツの機運と関心を踏まえ、本県における障がい者スポーツ活動をさらに推進するため、身近な地域でスポーツを始められる環境づくりに向け、以下の取組を実施する。

(1) 特別支援学校や社会福祉法人等と連携する身近なスポーツ環境づくりモデル事業

- ・令和5年度に引き続き、特別支援学校における部活動をベースとし、当該校生徒のみならず近隣校の障がい児やOB等も活動できる身近なスポーツ活動の場づくりを推進する。
(令和5年度実績:さくらの杜高等支援学校、大分支援学校、南石垣支援学校)

(2) 総合型地域スポーツクラブにおける障がい者の受入れ拡大支援

- ・ 県内42か所の総合型地域スポーツクラブにおいて、障がいのある方々がスポーツに親しめる環境整備に向け、体験会の開催や恒常的なプログラムの開催を支援する。

新 5 世界に羽ばたくアスリートの強化事業(県補助事業)[別冊 P6]

世界で活躍している選手及び今後世界で活躍が期待される選手の経済的負担を軽減し、国際大会の出場機会を増やすことを目的に、国際大会遠征費の補助を行う。

(補助対象経費:遠征費自己負担額の3/4、限度額:500千円、10人予定)

拡充 6 障がい者スポーツサポーター養成・活用事業(福祉医療機構助成)※事業申請中[別冊 P6]

- ・ 車いすマラソンや県障がい者スポーツ大会等障がい者スポーツに関するボランティア活動を行いたい県民を対象に「障がい者スポーツサポーター」養成講習会を開催し、当該サポーターが活動できる障がい者スポーツ体験会等を県内各地で開催する。
- ・ 障がい者スポーツサポーター養成講習会は令和5年度より開始(登録者数46名)し、これまで第42回大分国際車いすマラソン他各種行事において、活動を行っている。令和6年度はさらに登録者数を拡大し、活動の幅を広げていく。

新 7 障害者スポーツ実施環境の構築支援事業(JPSA委託事業)※事業申請中[別冊 P7]

- ・ 身近な場所で気軽に運動・スポーツを実施することができる環境を整備するため、当協会のみならず、特別支援学校や各競技団体等に用具等を整備する。
- ・ また、東京2025デフリンピック競技大会を見据え、聴覚障がい者のスポーツ活動を推進する用具を併せて整備する。

8 チーム大分未来のスター発掘プロジェクト(JPSA委託事業)※事業申請中[別冊 P8]

- ・ スポーツに取り組みたい障がいのある方々を対象に、体力測定や複数の競技体験ができるイベントを県内各地で開催し、身近な地域でスポーツをはじめのきっかけづくりを推進する。
- ・ また、開催に際し、各地市町村や競技団体等と連携し、継続的にスポーツできる環境づくりを併せて推進する。

9 公認初級パラスポーツ指導員養成事業(JPSA委託事業)※事業申請中[別冊 P9]

- ・ 障がい者スポーツに関わる専門的な人材の確保育成を目的に、(公財)日本パラスポーツ協会公認の初級パラスポーツ指導員を養成する。

10 障がい者スポーツ団体活動支援事業(県補助事業及び自主事業)[別冊 P10]

- ・ 県大会開催に係る経費や九州大会への参加経費、所属選手を対象とする練習等地域活動に係る経費を助成する。

助成予定： 県大会開催	19団体
九州大会参加	20団体
地域活動支援(練習会等)	24団体

- ・ また、障がい者スポーツは特殊かつ高額な用具を使用することから、令和6年度から各競技団体に対し、障がい者スポーツ用具整備に係る助成制度を創設(補助上限額:150千円×2団体)し、各競技団体の取組を支援する。

11 サントリーチャレンジド・スポーツ アスリート奨励金事業(サントリー助成金)[別冊 P11]

- ・ 地域におけるチャレンジド・スポーツ(パラスポーツ)の普及拡大・環境整備を目的として、チャレンジド・スポーツの未来を担う若手アスリートと各協会・競技団体等に対して奨励金を給付するもの。
- ・ 第1期1名(松島選手/陸上競技)に加え、第2期2名(在間選手/車椅子テニス、立野選手/ソールシャルフットボール)の選手の支援及び関連競技に係る普及育成に取り組む。

12 表彰事業(自主事業)

障がい者スポーツの功労者及び前年度に活躍した選手を表彰する。

13 広報事業(自主事業)

- ・ 協会ホームページにより障がい者スポーツ情報を広く発信するとともに、広報誌「障スポにゆ～す」を年3回(6月、10月、2月)発行する。

14 障がい者スポーツ体験会・講演会実施事業(福祉医療機構助成、自主事業)

- ・ 障がい当事者を対象とする体験会やアスリート講演会を開催し、障がい者スポーツの普及推進に努める。
- ・ また、県内民間事業者を対象とする体験会等も併せて開催し、障がい者スポーツを応援する県内企業の拡大を図る。